

3年生の学習到達目標

- (1)豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。  
 (2)材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、作りだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。  
 (3)自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚などを高めるようにする。

3年生の学習内容

学期	学習のねらい	単元名	学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>人やものの動きやまわりの様子などを工夫し、心に残っている忘れられない場面を絵に表します。</li> </ul>	話したいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃の生活の中から忘れられない場面を思い出します。</li> <li>人やものの動きや周りの様子など、表したいことが伝わるよう工夫して絵に表します。</li> <li>友だちと見せ合い、伝えたい感動的な場面について話し合います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひも材の特徴をよく知り、よさや特徴を生かしてつくります。</li> </ul>	ひものへんしん	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料のよさを生かし、切ったり、つなげたり、巻いたりしながらつくりたい思いをもちます。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>透過性のあるいろいろな材料を用いて、それらの特徴を生かしながら、光による造形活動を行います。</li> <li>完成した作品をさまざまな場所に設置し、楽しめます。</li> </ul>	光のプレゼント	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりのつくる方法を大切に、思いを広げながら表します。</li> <li>TPシートや卵パックを用いて、透過光を生かした作品をつくります。</li> <li>友だちと相談しながら、透過光を映す場所や、身近材などを試します。</li> <li>作品や光の美しさなどについて、経験したことなどをもとに話し合います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨンを重ねて塗り引っ掻き、表れたいろいろな色の線の効果を楽しみます。</li> <li>表したいことを、形や色を生かして絵に表します。</li> </ul>	かくれた色が出てきたよ	<ul style="list-style-type: none"> <li>引っかいたときの効果を考えて、色の重ね方を試したり、工夫したりします。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の机や椅子をもとに身近材などを組み合わせて、乗り物の運転席をつくります。</li> <li>行ってみたい場所やその風景を想像して楽しめます。</li> </ul>	ここにすわると	<ul style="list-style-type: none"> <li>引っかいた線の面白さを生かし、部分を切って貼ったり、組み合わせたりして絵に表します。</li> <li>いつも座っている場所をもとに、どんな乗り物にしてみたいか構想します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの布の材質感の違いから材料の特徴やよさを感じるようにします。</li> <li>できたものから材料の使い方や楽しい形に気づくようにします。</li> </ul>	ぬのから生まれた	<ul style="list-style-type: none"> <li>段ボール箱の形や身近にある材料の形や色の組み合わせ方を工夫してつくります。</li> <li>さまざまな布を集め、色や柄の違いや素材の違い、肌触りなど、材料としての面白さに気づきます。</li> <li>材料のよさを見つけながら、つくりたい形などを発想し、思いを広げながら表します。</li> <li>どんな作品ができたか見せ合う。</li> <li>物語やお話を聞いたり読んだり</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語やお話を聞いたり読んだりして、想像の世界を絵に表すことを楽しみます。</li> <li>・自分の思いを表せるよう、主人公とまわりの情景を工夫して表します。</li> </ul>	しゅ人公になって	して、想像した中から、絵に表したい場面を見つけます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の感じが表れるように主人公の位置や周りのものや色の使い方などを工夫して表します。</li> <li>・主人公のどんな気持ちを表したかったか話し合います。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙に穴をあけたり破いたりしたものをもとに、ローラーで刷ってできる形や色の表現を試みます。</li> <li>・できた色や形から発想しいろいろな材料を使い表します。</li> <li>・けずったものから楽しく遊べる物を考え、楽しみながらつくります。</li> <li>・小刀の使い方がわかり、けずる楽しさを味わい、作り方や遊び方を工夫します。</li> <li>・集めてきた板材をもとにして切ったり、組み合わせたりして発想したものをつくります。</li> <li>・板の切り方や接続の仕方を工夫して面白いものをつくります。</li> </ul>	すって、うつして  けずってあそぶ  切って、組み合わせると	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型紙にする画用紙の置き方を工夫したり、インクを重ねて刷る効果を試しながら刷ります。</li> <li>・うつした紙にかき加えたり、いろいろな材料をつけ加えたりして楽しみます。</li> <li>・小刀の使い方がわかり、扱いに慣れます。</li> <li>・つくりたいものを考え、楽しく遊べるよう、作り方、遊び方を工夫しながらつくります。</li> <li>・みんなで楽しく遊びます。</li> <li>・集めてきた板材を触ったり組み合わせたりしながら、何ができるか意欲的に試します。</li> <li>・つくりながら新しい発想ができたなら、積極的に取り入れながら新しい形をつくっていきます。</li> <li>・色についてもつくってみたいイメージに合わせて工夫します。</li> </ul>

### 3年生の評価

図画工作では、「造形への関心・意欲・態度」「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」

の四つの観点で評価します。

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、作り出す能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。
次のような方法で見えていきます。			
学習活動	制作の様子	発表内容	作品
			作品カード
			鑑賞カード
			など

### おうちの方へお願い

作品の見方についてお願いします。子どもたちは、その時、自分の持っている全力で自分の内にあるものを表現します。どんなに拙くても、それは、その時のその子にしかできない表現であり、精一杯の作品です。しっかり受け止めてあげてその良さを見つけて誉めてあげてください。

材料集めにご協力をお願いします。ひも、布、パックなど、いろいろな材料を使つての造形活動がたくさんあります。集めた材料で発想が広がることも多く、制作意欲も違ってきます。お便り等

でお知らせしますので、ご協力をお願いします。